

島根大学プロジェクト研究推進機構 『萌芽研究部門』		平成 20 年度	年度報告書	提出日 平成 21 年 2 月 6 日
① プロジェクト名	歴史・文化資源を活かした「地域まるごとミュージアム」化実践プロジェクト ～島根大学旧奥谷宿舎を取り巻く「ひと・まち・なりわい」をキーワードにして～			
② プロジェクトリーダー	会下和宏	所属	ミュージアム	
		電子メール	ege@riko.shimane-u.ac.jp	
③ プロジェクトの概要 (プロジェクトの最終年度における到達目標を簡潔に記入してください。)				
<p>島根大学では、松江市奥谷町に残る国登録文化財「島根大学旧奥谷宿舎(旧制松江高等学校外国人宿舎)」を修復し、サテライトミュージアム、生涯学習施設、地域市民・観光客・学生・留学生が集う交流拠点として活用していくことを構想している。この一帯は、本学に近いうえ、城下町の街並みが良く残り、歴史・文化資源も豊富に存在していることから、旧奥谷宿舎を核にして、周辺を有機的・面的に結び活用した「地域まるごとミュージアム」化をはかることも計画されている。しかし、こうした遠大な構想を実現していくためには、各専門研究者が協業し、<b>(i)ミュージアム・コンテンツの蓄積</b>(歴史・文化資源の発掘収集・学術研究)、<b>(ii)フィールド・ミュージアム化やミュージアム・マネジメントのノウハウ蓄積</b>(博物館経営・行財政・都市政策の調査研究、行政・市民との連携等)、<b>(iii)アウトプット・実践</b>によって進めていくことが欠かせない。</p> <p>そこで本プロジェクトでは、「ひと・まち・なりわい」を分析概念に、空間的には旧奥谷宿舎がある松江市城北地区を核にした出雲地域を、時代的には近世・近代を主たる対象とし、以下の3項目を具体的テーマにして取り組むことにした。</p> <p>A. 旧奥谷宿舎(建築・居住者)・旧制松江高校(学校史・人物)等に関する調査研究と資源化<b>(i)</b>(「⑤本年度の研究計画と目標」①②⑦)  B. 旧奥谷宿舎周辺～松江・出雲の地域資源(歴史・文学等)に関する調査研究と資源化<b>(i)</b>(「⑤本年度の研究計画と目標」③～⑥⑧)  C. 旧奥谷宿舎を核にした「地域まるごとミュージアム化」「まちづくり」に関する調査研究と実践<b>(ii・iii)</b>(「⑤本年度の研究計画と目標」⑨～⑫)</p>				
④ プロジェクトのメンバー及び役割				
氏名	所属(職)	本年度の役割分担		
会下和宏	ミュージアム(准教授)	プロジェクトの総括。旧奥谷宿舎に関する調査研究。地域資源を活用したミュージアム活動の実践。		
田中則雄	法文学部(教授)	文学資料・近代教育資料の発掘・調査研究と資源化の実践。		
蘆田耕一	法文学部(教授)	文学資料・近代教育資料の発掘・調査研究と資源化の実践。		
要木純一	法文学部(教授)	文学資料・近代教育資料の発掘・調査研究と資源化の実践。		
竹永三男	法文学部(教授)	歴史資料の調査研究と資源化の実践		
廣嶋清志	法文学部(教授)	歴史資料の調査研究と資源化の実践		
相良英輔	教育学部(特任教授)	歴史資料の調査研究と資源化の実践		
大日方克己	法文学部(教授)	歴史資料の調査研究と資源化の実践		
飯野公央	法文学部(准教授)	地域資源を活用した「まちづくり」政策の調査研究と実践		
作野広和	教育学部(准教授)	地域資源を活用した「まちづくり」政策の調査研究と実践		
⑤ 本年度の研究計画と目標 (本年度当初の計画書に書かれた内容に沿って、計画と達成目標を箇条書きにしてください。)				
<b>(i)ミュージアム・コンテンツの蓄積</b>				
<b>【〈ひと〉と〈まち〉】の関係の研究</b>				
① 旧奥谷宿舎の建築・居住者、旧制松江高校の教官・学生に関する調査。				
② 「地域の中の旧制松江高等学校—松江高等学校をめぐる人と町」のテーマで新聞等の史料収集・研究。				
③ 初代松江市長・福岡世徳の「公務手帳」全10冊の翻刻と研究。松江市制120周年の2009年にあわせて成果を出版。				
<b>【〈まち〉と〈なりわい〉】の関係の研究</b>				
④ 今岡ガクブチ店所蔵「古絵葉書」及び古写真と古地図・『商工名鑑』等を活用した旧奥谷宿舎周辺地域等の松江市旧市街における新たな歴史・文化・観光資源の発掘・調査・景観復元研究。				
⑤ 天保年間松江城下絵図(松江城天守閣事務所蔵)等を用いた松江城下町の研究と資源化。				
⑥ 松江市の近代化に果たした国際交流の役割についての研究と資源化。				
<b>【〈ひと〉と〈なりわい〉】の関係の研究</b>				
⑦ 旧制松江高校および足立文庫所蔵本のうち、特に教科書類を調査し、近代高等教育における学問の世界を解明する。				
⑧ 島根大学所蔵『雲陽秘事記』『大森文庫』、松江市奥谷町春日神社所蔵古文書等、近世・近代の松江・出雲に関係する古典・和歌・散文・漢詩文・史料等の収集と電子化・研究。それらにみられる文化人・歴史的人物の事績についての研究。				
<b>(ii)フィールド・ミュージアム化やミュージアム・マネジメントのノウハウ蓄積</b>				
<b>【〈まち〉と〈なりわい〉】の関係の研究</b>				
⑨ 文化財群、歴史的町並み保全を活かしたミュージアム活動・都市政策・観光政策の事例研究。				
⑩ 伝統産業・無形文化財(日本酒、醤油、そば等)を活かした商業活動活性化策の研究と松江市への政策提言。				
⑪ 旧奥谷宿舎周辺地域における空き家の実態調査と利活用(定住促進と商業的利用の可能性)を研究。防災安全対策の検討。				
<b>(iii)アウトプット・実践</b>				
⑫ 旧奥谷宿舎・公民館で展示・市民講座を開き、以上の各研究成果(①～⑪)を地域市民に普及啓発。HPによる情報発信。				

⑥ **計画の達成状況と自己評価** (前項で記載された計画の達成状況を項目毎に記載してください。また、年度目標に対する達成状況を項目毎に以下の基準に従って自己評価してください。A：目標以上に成果をあげた、B：ほぼ目標通りの達成度で予定した成果をあげている、C：計画より遅れ気味であるが年度末には目標達成が可能である、D：年度末までに目標達成は不可能である。Dの場合はその原因についても記載してください。2～3月に行う計画のため未執行の場合には評価は空欄にしてください。)

- ① 宿舎に暮らしたブラーグ、カルシュ、アロンスタイン博士についての人物調査、聞き取り調査を実施。旧制松江高校出身の永井隆について調査。 **評価 A**
- ② 1920～1949年『大阪朝日新聞(山陰版・島根版)』の旧制松江高校～島根大学に関する記事をすべて検索・リスト化。 **評価 A**
- ③ 「初代松江市長・福岡世徳文書」翻刻研究会を4月より月例会で開催し、翻刻作業を継続実施。松江市制施行120周年にあたる2009年度中に、『初代松江市長・福岡世徳文書—翻刻と解題—』として刊行予定。 **評価 B**
- ④ 白潟天神町絵図、松江古写真のデジタル化をはじめ、資料収集、調査を実施。 **評価 A**
- ⑤ 「天保年間松江城下絵図(松江城天守閣事務所蔵)」等のデジタル化を終了。 **評価 A**
- ⑥ 旧制松江高校や島根大学の外国人教師について研究完了。その他の松江に関係する外国人についても研究していく予定。 **評価 A**
- ⑦ 足立文庫所蔵本をリスト化し、整理完了。来年度に向けて、研究成果を公表していく予定。 **評価 B**
- ⑧ 『雲陽秘事記』『大森文庫』『松江竹枝』『出雲国風土記抄』『熊谷家文書』『田部家文書』『佐々田懋日記』『島根県魚漁図解』など、地域に根ざした様々な貴重史料を発掘・整理・写真撮影し、研究成果を論文化・学会発表。可能な史料から、附属図書館のデジタルアーカイブに登録してWeb上で閲覧できるようにした。旧蚕業指導所の近代産業資料を収集した。 **評価 A**
- ⑨ 文化財群、歴史的町並み保全を活かしたミュージアム活動・都市政策・観光政策の各地の事例を収集して、調査研究を推進。島根大学白潟サロンの運営をテストケースにした町づくり実践研究の推進。 **評価 A**
- ⑩ 伝統産業・無形文化財(日本酒、醤油、そば等)を活かした商業活動活性化策の各地の事例を収集して、調査研究を推進。 **評価 A**
- ⑪ 松江市やNPO等と連絡協議会を開催するなどして連携し、旧奥谷宿舎周辺地域における空き家の実態基礎調査完了。解析中。 **評価 A**
- ⑫ ①～⑪の成果を下記の方法でアウトプット。 **評価 A**

- ・毎月、市内で連続市民講座を開催し、①～⑪の研究成果を市民に還元(島根大学生涯学習教育研究センター・まつえ市民大学・松江開府400年祭推進協議会と連携)。毎回30～50人の受講者。その他講演会で講師協力。
- ・ヘリテージ・ツーリズムとシニア教育を融合させた「平成出雲塾2009」(島根大学生涯学習教育研究センター・島根県古代出雲歴史博物館・(株)近畿日本ツーリストと連携)の企画・講師協力。
- ・ミュージアム本館やイベントなどでパネル展示を実施。「永井隆博士・生誕百年記念コンサート・講演会(雲南市・島根大学医学部共催)」では1000人以上が来場し、展示を見学。
- ・HP、デジタルアーカイブ、Web-GIS、Ruby言語による松江SNS等のIT技術を活用したバーチャルミュージアムの試行。
- ・携帯散策マップ『松江温故知新(橋北版)』『同(橋南版)』の制作・配布。携帯情報端末によるコンテンツ開発。
- ・公開授業、出張授業などでの「松江町歩き」教育プログラムの開発・実施。

⑦ **公表論文、学会発表など** (別途添付していただく個人調書の中から年度末までに発行される学術雑誌等(紀要も含む)に掲載が確定しているものも含め、代表的なものを10件程度選んでください。発明等に関しては差し支えない範囲で記載してください)

#### 【公表論文など】

会下和宏『松江温故知新(橋南版)』  
要木純一『影印 松江竹枝』2009.2.1  
田中則雄「文学としての『雲陽秘事記』」『島大言語文化』26、2009.3 予定  
芦田耕一・原豊二・山崎真克編著「類題八雲集—翻刻・解説と作者索引」2009.1.10  
福岡世徳文書研究会(竹永三男、大國由美子、小林奈緒子、沼本龍、本井優太郎)「初代松江市長・福岡世徳文書(四)」『山陰研究』1、pp103-124  
廣嶋清志「幕末石見銀山領の同居別荘からみた家制度」『経済科学論集』35号、pp1-15、2009.3 予定  
相良英輔編著『松江藩鉄師頭取田部家の研究』200頁、2009.3 予定  
大日方克己「江戸時代の出雲国風土記」乾 隆明編著『松江藩の時代』山陰中央新報社、pp148-153、2008  
飯野公央「人口減少時代の商業まちづくりの現状と課題」『島大法学』第52巻3・4合併号、2009 予定  
作野広和「城下をGISで復元」乾 隆明編著『松江藩の時代』山陰中央新報社、pp116-118、2008

⑧ **外部資金の獲得状況、その他、特筆すべき成果** (シンポジウムの開催、産学連携・地域連携に関する各種見本市、展示会への出展なども含む)

#### 外部資金の獲得状況

- ・相良英輔・科学研究費補助金・基盤研究(C)、代表者・相良英輔「近世近代のたたら製鉄業者田部家の研究」2008～2010年度、1,100,000円(2008年度、直接経費)
- ・竹永三男・科学研究費補助金・基盤研究(C)、代表者・竹永三男「1890～1947年の地方長官会議の政治史的研究」2006～08年度、500,000円(2008年度、直接経費)

- ・田中則雄…科学研究費補助金・基盤研究(C)、代表者・田中則雄「後期上方読本の成立における実録の影響についての研究」2008～11年度、600,000円(2008年度、直接経費)
- ・廣嶋清志…科学研究費補助金・基盤研究(B)、代表者・廣嶋清志「石見銀山領における人口増加開始期における人口再生産機構に関する研究」2007～09年度、1,500,000円(2008年度、直接経費)

**その他、特筆すべき成果**

**【市民講座・講演会等の開催】**

- ・会下和宏「島根大学の履歴書～文化財が語る松江キャンパスと周辺の歴史」(島根大学ミュージアム等主催「市民講座・島大の学者が語るモノ・フィールド研究の世界」)於島根大学、2008.6.28)
- ・田中則雄「雲陽秘事記を読む」(松江市立図書館・松江藩講座、於松江市総合文化センター・プラバホール、2008.7.12)
- ・大日方克己・竹永三男・飯野公央・相良英輔・廣嶋清志・田中則雄・芦田耕一(本プロジェクト・島根大学ミュージアム等主催「連続市民講座・島根温故知新一江戸～平成のひと・まち・なりわい」)於松江市民活動センター、2008.9.27～2009.3.14、全7回開催)
- ・大日方克己・会下和宏(近畿日本ツーリスト株式会社・島根大学・島根県立古代出雲歴史博物館企画「平成出雲塾」)2009.3.10 予定)

**【ワークショップ・展示会の開催】**

- ・会下和宏「旧奥谷宿舎のパネル展示」(雲南市・島根大学医学部共催「永井隆博士・生誕百年記念コンサート・講演会」)於雲南市三刀屋町アスパル、2008.4.27)
- ・会下和宏「第3・4回国登録文化財・島根大学旧奥谷宿舎の保存活用を考えるワークショップ」の企画・開催、発表(2008.5.21・10.11)

**⑨ 本年度の主要な研究成果** (図、表、ポンチ絵などを多用して、2ページ以内にわかりやすくまとめてください)

**(i) ミュージアム・コンテンツの蓄積**

**A 旧奥谷宿舎・旧制松江高校の調査研究**

- ① 宿舎に暮らしたプラーゲ、カルシュ、アロンスタイン博士についての調査。旧制松江高校出身の永井隆について調査。
- ② 1920～1949年『大阪朝日新聞(山陰版・島根版)』の旧制松江高校～島根大学に関する記事をすべて検索・リスト化。
- ⑦ 足立文庫所蔵本をリスト化し、整理完了。

**B 松江・出雲の地域資源(歴史・文学等)の調査研究**

- ③ 「初代松江市長・福岡世徳文書」翻刻研究会を4月より月例会で開催し、翻刻作業を継続実施。
- ④ 白潟天神町絵図、松江古写真のデジタル化をはじめ、資料収集、調査を実施。
- ⑤ 「天保年間松江城下絵図(松江城天守閣事務所蔵)」等のデジタル化終了。
- ⑥ 旧制松江高校や島根大学の外国人教師について研究完了。
- ⑧ 『雲陽秘事記』『大森文庫』『松江竹枝』『出雲国風土記抄』『熊谷家文書』『田部家文書』『佐々田懋日記』『島根県魚漁図解』など、地域に根ざした様々な貴重史料を発掘・整理・写真撮影・論文化。可能なものは附属図書館のデジタルアーカイブに蓄積。

「ひと・まち・なりわい」を資源化

(iii) アウトプット・実践

**(ii) フィールド・ミュージアム化のノウハウ蓄積  
ミュージアム・マネジメントのノウハウ蓄積**

**C 旧奥谷宿舎を核にした「地域まるごとミュージアム化」「まちづくり」の調査研究**

- ⑨ 文化財群、歴史的町並み保全を活かしたミュージアム活動・都市政策・観光政策の各地の事例を収集し、調査研究。島根大学白潟サロンの運営をテストケースにした町づくり実践研究。
- ⑩ 伝統産業・無形文化財(日本酒、醤油、そば等)を活かした商業活動活性化策の各地の事例を収集して、調査研究。
- ⑪ 旧奥谷宿舎周辺地域における空き家の実態基礎調査完了(松江市やNPO等と連絡協議会と連携)。

松江市・NPOと連携

⑨ 本年度の主要な研究成果 (続き)

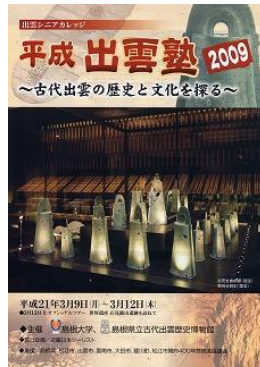
リアルミュージアム(大学ミュージアムと連携)



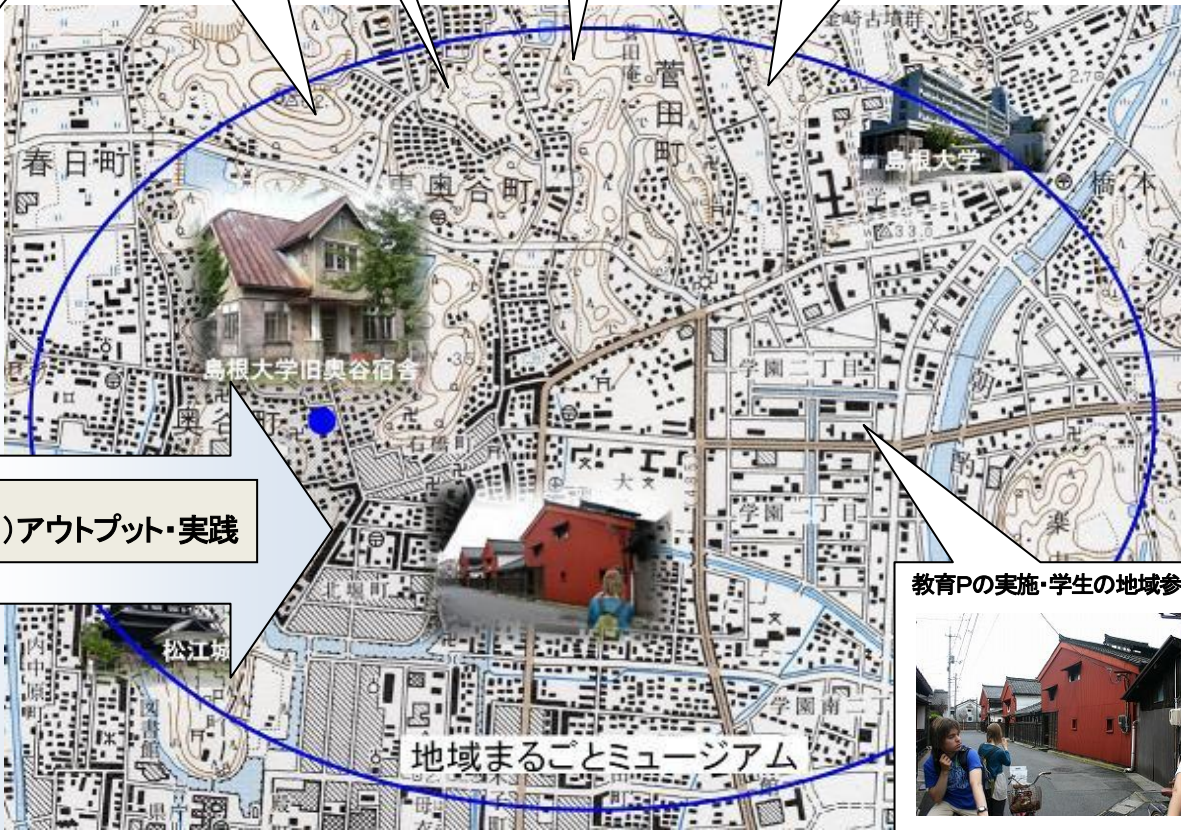
市民講座(生涯学習教育研究センター・松江市と連携)



ツーリズムの試行(ビクター産業・県立博物館と連携)



バーチャルミュージアム  
(附属図書館・総合情報処理センターと連携)



(iii) アウトプット・実践

教育Pの実施・学生の地域参加



C 旧奥谷宿舎を核にした「地域まるごとミュージアム化」「まちづくり」の実践・実現

- ・毎月、市内で連続市民講座を主催。その他講演会での講師協力。
- ・ヘリテージ・ツーリズムとシニア教育を融合させた「平成出雲塾 2009」の企画・講師協力。
- ・大学ミュージアムやイベントなどでの展示活動。
- ・HP、デジタルアーカイブ、Web-GIS、Ruby 言語による松江 SNS 等の IT を活用したバーチャル・ミュージアム活動。
- ・携帯散策マップ『松江温故知新(橋北版)』『同(橋南版)』の制作・配布。携帯情報端末によるコンテンツ開発・発信。
- ・大学公開授業、出張授業などでの「松江町歩き」教育プログラムの開発・実施。